

平成27年度全国学力・学習状況調査結果 鳥取市の概要【資料】

<教科に関する調査結果の概要>

(1) 小学校

国語 A (主として知識)

() 内の数字は
全国との差

- 平均正答率 73.0% (+3.0)
- 正答率が最も高い、または全国平均を最も上回った問題
「学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む(招く)」(言語文化) 98.9% (+1.4)
「学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く(びょういん)」(言語文化) 84.8% (+9.9)
- 正答率が最も低い問題
「新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉える」(読むこと) 21.5% (+1.7)

国語 B (主として活用)

- 平均正答率 67.9% (+2.5)
- 正答率が最も高い、または全国平均を最も上回った問題
「目的に応じ、中心となる語や文を捉える」(読むこと) 86.5% (+0.5)
「文章と図とを関係付けて、自分の考えを書く」(書くこと、読むこと) 47.9% (+6.3)
- 正答率が最も低い、または全国平均を最も下回った問題
「目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書く」(書くこと) 33.5% (-1.2)

国語関係の質問紙

- 肯定的回答 全国平均より高い、または低い主なもの(±3%以上)
「解答を文章で書く問題を最後まで書こうと努力した」81.6% (+3.9)

算数 A (主として知識)

- 平均正答率 75.5% (+0.3)
- 正答率が最も高い、または全国平均を最も上回った問題
「繰り上がりのある2位数の加法の計算をする」(数と計算) 98.5% (+0.3)
「除数が整数である場合の分数の除法の計算をする」(数と計算) 88.8% (+4.6)
- 正答率が最も低い、または全国平均を最も下回った問題
「示された三角形が二等辺三角形になる根拠となる円の性質を選択する」(図形) 45.7% (-4.9)

算数 B (主として活用)

- 平均正答率 46.7% (+1.7)
- 正答率が最も高い、または全国平均を最も上回った問題
「平行四辺形の性質を基に、平行四辺形を構成することができる辺の組み合わせを理解する」
(図形) 95.9% (+0.7)
「正三角形の性質や合同な三角形の性質を基に、∠の角が30°になる理由を記述する」
(図形) 55.0% (+5.9)

●正答率が最も低い、または全国平均を最も下回った問題

「長方形の面積を2等分する考えを基に、分割された二つの図形の面積が等しくなる理由を記述する」(量と測定、図形) 12.7% (+0.2)

「正三角形の性質を基に、示された周の長さから辺の長さが等しくなる位置を求める」(数と計算、図形) 31.0% (-1.5)

算数関係の質問紙

●肯定的回答 全国平均より高い、または低い主なもの(±3%以上)

「算数の勉強は好きだ」 59.0% (-7.6)

「算数の授業の内容はよく分かる」 77.8% (-3.2)

「算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える」 75.9% (-3.2)

「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」 64.7% (-3.0)

理科

●平均正答率 60.8% (±0.0)

●正答率が最も高い、または全国平均を最も上回った問題

「メダカの雌雄を見分ける方法を理解する」(知識 生命) 88.6% (+10.6)

●正答率が最も低い、または全国平均を最も下回った問題

「析出する砂糖の量について分析するために、グラフを基に考察し、その内容を記述する」(活用 物質) 25.7% (-3.2)

「メスシリンダーの名称を理解する」(知識 物質) 63.9% (-6.8)

理科関係の質問紙

●肯定的回答 全国平均より高い、または低い主なもの(±3%以上)

「理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えている」 71.4% (+4.3)

「解答を文章などで書く問題を最後まで書こうと努力した」 80.3% (+4.2)

(2) 中学校

国語A(主として知識)

●平均正答率 76.8% (+1.0)

●正答率が最も高い、または全国平均を最も上回った問題

「語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う(気象)」(言語文化) 97.9% (+0.3)

「文脈に即して漢字を正しく書く(シュクシヤク)」(言語文化) 79.9% (+7.8)

●正答率が最も低い、または全国平均を最も下回った問題

「単語の類別について理解する」(言語文化) 33.7% (±0.0)

「表現の技法について理解する」(言語文化) 54.0% (-4.3)

国語 B (主として活用)

- 平均正答率 66.3% (+0.5)
- 正答率が最も高い、または全国平均を最も上回った問題
「効果的な資料を作成し、活用して話す」(話す・聞くこと) 87.7% (+0.4)
「状況に応じて、資料を活用して話す」(話す・聞くこと) 78.1% (+4.9)
- 正答率が最も低い、または全国平均を最も下回った問題
「複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書く」
(書くこと、読むこと) 25.9% (+2.9)
「表現の工夫について自分の考えをもつ」(読むこと) 87.2% (-1.4)

国語関係の質問紙

- 肯定的回答 全国平均より高い、または低い主なもの(±3%以上)
「読書は好きだ」72.4% (+4.5)

数学 A (主として知識)

- 平均正答率 64.2% (-0.2)
- 正答率が最も高い、または全国平均を最も上回った問題
「比の意味を理解する」(数と式) 94.9% (+1.3)
「具体的な事象における数量の関係を捉え、連立二元一次方程式をつくる」
(数と式) 49.5% (+4.6)
- 正答率が最も低い、または全国平均を最も下回った問題
「数量の関係を文字式に表す」(数と式) 21.4% (-0.8)
「文字を用いた式で数量の関係を説明するための構想を理解する」(数と式) 48.9% (-8.1)

数学 B (主として活用)

- 平均正答率 40.8% (-0.8)
- 正答率が最も高い、または全国平均を最も上回った問題
「問題場面における考察の対象を明確に捉える」(数と式) 77.6% (-1.2)
「発展的に考え、条件を変えた場合について証明する」(図形) 52.0% (+2.4)
- 正答率が最も低い、または全国平均を最も下回った問題
「事象を式の意味に即して解釈し、その結果を数学的な表現を用いて説明する」
(関数) 10.0% (-1.7)
「与えられた式を基に、事象における2つの数量の関係が比例であることを判断する」
(関数) 40.1% (-6.4)

数学関係の質問紙

- 肯定的回答 全国平均より高い、または低い主なもの(±3%以上)
「数学の勉強は好きだ」50.3% (-5.7)
「数学の授業の内容はよく分かる」66.0% (-5.6)
「言葉や数、式を使って説明する問題で、最後まで解答を書こうと努力した」47.1% (-4.2)
「数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」36.9% (-4.0)
「数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える」63.8% (-3.7)

理科

- 平均正答率 52.6% (−0.4)
- 正答率が最も高い、または全国平均を最も上回った問題
「塩化ナトリウムを化学式で表す」(知識 化学) 82.5% (+2.9)
「技術の仕組みを示す場面において、スイッチの入り切りによる磁界の変化を説明する」
(活用 物理) 61.7% (+4.9)
- 正答率が最も低い、または全国平均を最も下回った問題
「他者の考察を検討して改善し、水の状態変化と関連付けて雲の成因を正しく説明する」
(活用 地学) 13.2% (−1.3)
「気圧の変化で菓子袋が膨らむことについてモデルを使った実験を計画する」
(活用 物理、地学) 58.0% (−4.2)

理科関係の質問紙

- 肯定的回答 全国平均より高い、または低い主なもの(±3%以上)
「理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」 59.0% (+4.7)
「理科の勉強は大切だと思う」 73.7% (+4.4)
「理科の授業で、理科室で観察や実験を月1回以上行った」 78.3% (−5.6)
「理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察している」 63.7% (−3.5)

<質問紙調査結果の概要>

- 鳥取市が課題と考えている主な項目(%は肯定的回答)

<夢、目標>

「将来の夢や目標を持っている」

小学校 85.1% (−1.4) 中学校 71.4% (−0.3)

<生活習慣> ※肯定的回答は全国平均より低いが、増加傾向

「普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上、テレビゲーム(コンピュータ・携帯式・携帯電話・スマートフォンのゲームを含む)をする」

小学校 44.9% (−9.7) 中学校 49.4% (−8.4)

「普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする」

小学校 11.8% (−5.1) 中学校 31.3% (−16.3)

<家庭学習>

「家で、学校の授業の予習をしている」

小学校 43.6% (+0.2) 中学校 23.8% (−11.5)

<地域>

「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」

小学校 38.4% (−6.4) 中学校 31.7% (−1.2)